

やまびこ

清水南小学校 学校便り 令和6年1月31日

2月号



春への準備

2月になります。俳句の季語には残雪、余寒など寒さを表しているものもありますが、立春、初春、早春、梅、など春の訪れを感じさせる言葉もあります。「如月（きさらぎ）」という美しい旧暦の月名の語源には、寒さのため着物を重ねる「衣更着」、春めいて陽気が盛んになる時季を意味する「気更来」などがあります。静かな気持ちで自然と向き合いながら、草木や動物たち、そして私たちも、目覚めの季節への準備を始めるタイミングかもしれません。

子どもたちは、どの学年も1年間のまとめの時期になります。学習面、生活面等において、一人一人の子どもの成長を確かめながら、進級、進学に向けての希望を大きく膨らませることができるよう支援して参ります。学校では、今年度の反省に基づき、来年度に向けての教育目標や指導の重点、年間行事予定等を見直しています。

今年度の授業日数も、残り40日を切りました。子どもたちが明るく元気に終わることができるよう、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【6年生を送る会について】

日時: 令和6年2月29日(木)

2校時~3校時(9:25~11:00)

場所: 体育館

これまでお世話になった6年生の卒業をお祝いするために、5年生が中心となって全校で「送る会のスローガン」「送る会で踊るダンス」「色紙」「学年の発表」などを考えています。当日は、きっと楽しい会となり、全校児童で6年生の卒業を心からお祝いすることができるにちがいありません。

保護者の皆様もご参観いただければと思います。

【大谷翔平選手からのプレゼント】

大谷翔平選手が全国の小学校に贈ってくださったグローブが清水南小にも届きました。

大谷翔平選手からのお手紙です。(原文のまま)

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

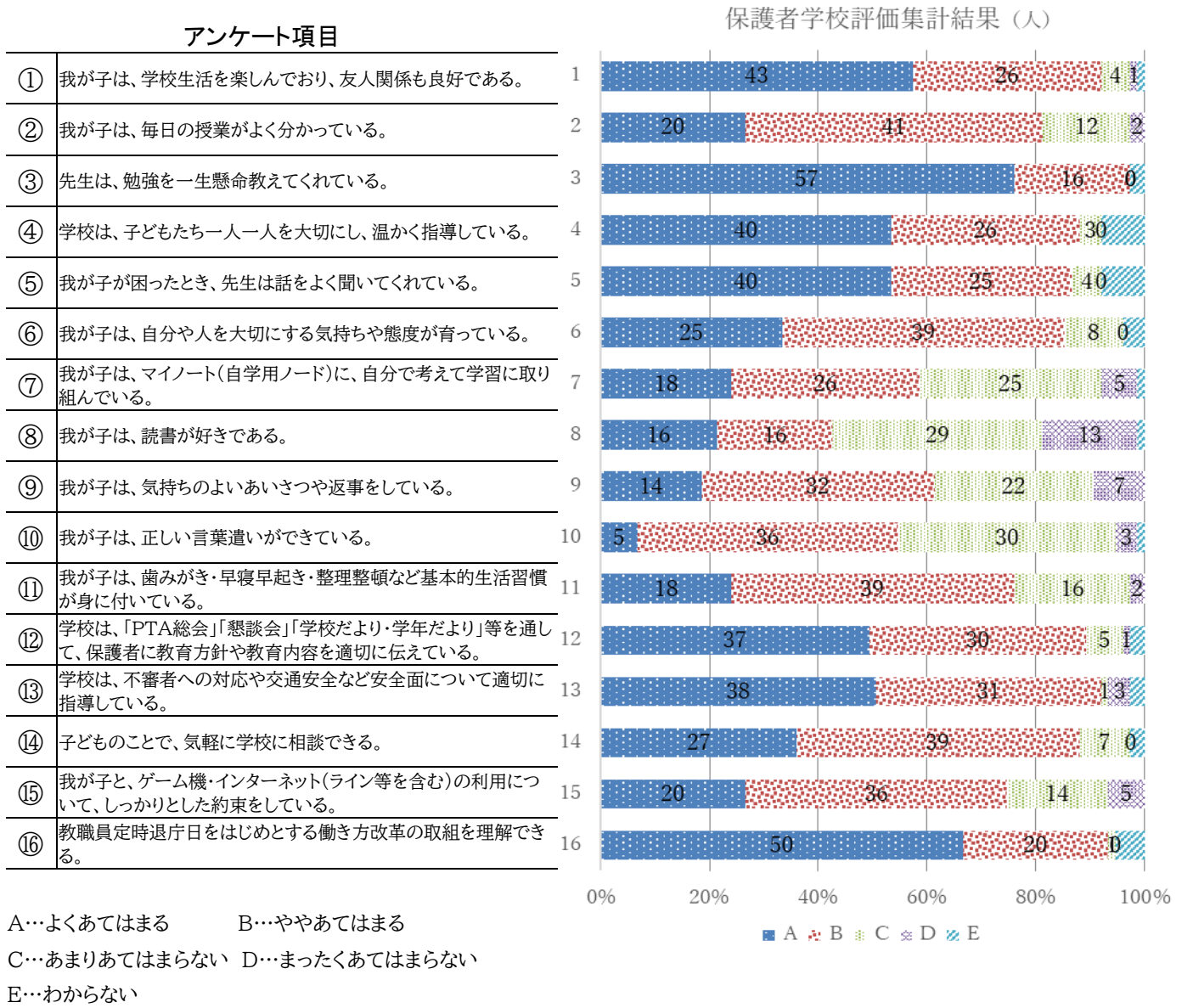
大谷翔平



全校放送で、子どもたちにはお手紙と届いた3つのグローブを紹介しました。その後、6年生の教室から順にグローブを回し、学級ごとにグローブに触れたり、大谷選手の話題について話したりしました。今後は、体育の時間や休み時間に全校の児童が楽しんで使う予定です。保護者の皆様には、2月1日(木)なわとび大会当日の児童玄関にてご覧いただけます。

【学校評価(保護者アンケートの結果から)】

令和5年度 学校評価アンケートの結果をお知らせします。ご協力いただき、ありがとうございました。



肯定的な評価(A+B)が80%を超えたものは、16項目中10項目でした。

特に良かった項目(90%以上)は、「1 我が子は学校生活を楽しみ、友人関係も良好」「2 先生は一生懸命教えてくれる」「5 我が子が困った時、先生は話を聞いてくれる」「13 学校は安全面を適切に指導」です。児童が安心・安全に過ごせ、人間関係を育み、豊かな学びの場となるように心がけていることなどを評価いただいたものと、たいへん嬉しく、職員一同、今後の励みにしていきたいと思います。

良くなかった項目(60%未満)は、「7、マイノート(家庭での自主学習)」「8 読書が好き」「10 言葉遣い」です。家庭学習や読書の習慣は日々の生活の中で徐々に身につけていくものと考えられ、子どもたちが意欲を持てるような取り組みを工夫してまいりますので、ご家庭でもご支援ご協力をお願いします。

言葉遣いについては、児童アンケートでは「9 挨拶返事」とともに90%以上となっています。学校外(家庭や地域)の場でも、相手に伝わり、実際に子どもたちの姿として見られるようにしていきたいと思います。

「11 基本的生活習慣」は、昨年度より20%以上増えました。保健だよりやハッピー貯金を通じて、家庭との連携を図りながら定着を目指した結果だと考えられます。心より感謝申し上げます。

以上、保護者の方が見られた、子どもや学校の姿を真摯に受け止め、よりよい学校づくりに生かしていきたいと思います。今後も職員同士で日々、連携協働しながら、更に努めていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。